

令和元年度～2年度

令和3年度

令和4年度

【ひきこもり相談支援課の設立】

【支援体制】

○ひきこもりに特化した組織「ひきこもり相談支援課」を新設(中核市で全国初)

○専門職:6名配置(精神保健福祉士、保健師、弁護士など)

【ひきこもり個別支援の実施】

【相談支援】

○ひきこもり専門相談(電話・面接・訪問・同行支援)
令和元年:766件 令和2年:1,650件

【当事者支援】

【家族支援】

○家族教室の開催(R2):3回/延17名参加
○家族向けパンフレットの作成(R2)

【支援関係機関への支援】

○ケース支援会議の実施:27回(R1)・24回(R2)
○事例検討会の開催:1回(R1) 2回(R2)

【関係機関ネットワークの構築】

○関係機関ネットワーク会議の開催:1回

【地域づくり支援】

○出前講座の開催:1回/60名(R1) 1回/16名(R2)

【情報発信・実態把握】

○市民への普及啓発(広報紙・HPなど)
○実態調査(R1:対象:居宅介護支援事業所)
○相談ケース統計分析(R元年度分)

【支援団体の育成】

○支援団体の育成(家族会・セミナー)

【相談支援課～ひきこもり支援体制の充実】

【支援体制】

○支援体制の拡充(ひきこもり支援、精神保健、自殺対策の総合的実施、「相談支援課」に課名変更)[拡充]

○専門職:16名配置(精神保健福祉士、保健師、臨床心理士、弁護士など。)[拡充]

【家族・当事者支援の強化・ネットワークの構築】

【相談支援】

○相談支援(電話・面接・訪問・同行支援):1,039件

【当事者支援】

○居場所づくり(民間団体に運営費助成、当事者を対象):2箇所開設(新規)
○精神障がい者アウトリーチの実施(精神科医の訪問、治療中断・未受診を対象):1回(新規)

【家族支援】

※新型コロナウイルス感染拡大のため実施見合わせ

【支援関係機関への支援】

○ケース支援会議の実施:11回
○事例検討会の開催:1回
○関係機関向け支援ガイドの作成・配布(新規)

【関係機関ネットワークの構築】

○関係機関ネットワーク会議の開催(支援上の課題整理):1回

【地域づくり支援】

○出前講座の開催:4回/72名参加

【情報発信・実態把握】

○市民への普及啓発(広報紙、HPなど)

【支援団体の育成】

○支援者団体の育成(家族会)

【明石市ひきこもり相談センター】

【支援体制】

○さらにきめ細かに支援を行うため、「明石市ひきこもり相談センター」を設置[拡充]

○専門職:20名(※兼務)配置(精神保健福祉士、保健師、看護師(精神看護)、臨床心理士、弁護士など)[拡充]

【居場所の拡充・他機関との連携強化】

【相談支援】

○相談支援(面接・訪問・同行支援):1,650件程度

【当事者支援】

○居場所づくり(民間団体に運営費助成、当事者を対象):4箇所増加[拡充]
○精神障がい者アウトリーチの実施(精神科医の訪問、治療中断・未受診を対象):10回程度(継続)

【家族支援】

○家族教室の開催:8回程度[拡充]
○家族向けパンフレットの作成

【支援関係機関への支援】

○ケース支援会議の実施:30回程度
○事例検討会の開催:2回程度

【関係機関ネットワークの構築】

○関係機関ネットワーク会議の開催(事例を通じた各機関の役割の確認・共有):1回程度

【地域づくり支援】

○出前講座の開催:5回程度

【情報発信・実態把握】

○市民への普及啓発(広報紙、HPなど)
○広報あかし4月15日号掲載

【支援団体の育成】

○支援者団体の育成(家族会)